

定置型レーザースキャナ MS7120 シリーズ

日本語訳 設定マニュアル
第1版

対象機種

型式	インターフェース
MS7120-AC-U	USB キーボードインターフェース
MS7120-AC-K	PS/2 キーボードインターフェース
MS7120-AC-R	RS-232C

【発行】

株式会社エイポック
〒230-0051
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1
ナイス第2ビル 5F
TEL:045-508-5201
FAX:045-508-5202
URL:<http://www.a-poc.co.jp/>

Rev1.08

本書について

- ・ 本書は英文設定ガイド (MetroSelect Configuration Guide) から、主に使用する機能変更の設定用バーコードメニューを抜粋し、日本語に翻訳したものです。

あらかじめご承知いただきたい事項

- ・ 本書は再配布しておりません。設定を実行した後は、大切に保管してください。

改訂履歴

第 1 版 Rev 1.00	日本語訳 設定マニュアル 作成	2006/5/10
第 1 版 Rev 1.01	誤字訂正	2006/5/31
第 1 版 Rev 1.02	MS7120-AC-U Revision L 以降用初期設定を追加	2006/11/24
第 1 版 Rev 1.04	Section D-6 同一シンボル・チェックを追加	2007/9/25
第 1 版 Rev 1.05	Section D-22 F/L レーザー・コマンドを追加 Section D-22 M/O レーザー・コマンドを追加	2008/3/5
第 1 版 Rev 1.06	USB シリアルエミュレーションの設定を改訂	2011/5
第 1 版 Rev 1.07	USB シリアルエミュレーションの設定を改訂	2011/6
第 1 版 Rev 1.08	USB シリアルエミュレーションの設定を削除 USB シリアルエミュレーションの設定はドライバ ファイルに同梱	2011/7

設置方法

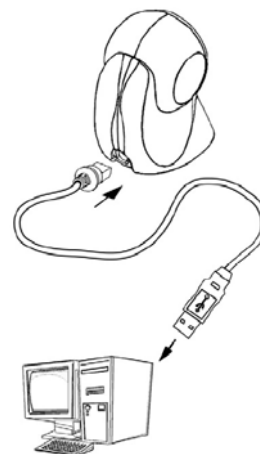
MS7120-AC-U の接続

動作環境

コンピュータ	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)
OS	Windows 2000 以降推奨
接続するコネクタ	USB(USB ver1.1 または USB2.0)、USB-A コネクタ
制限事項	USB インターフェースは全ての環境での動作を保証するものではありません。 上記 OS 以外のシステムでは動作確認しておりません。 WindowsNT/95 は USB をサポートしていませんので動作しません。

接続方法

- (1) スキャナの USB コネクタをコンピュータの USB コネクタへ接続します。
コンピュータ本体の USB コネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナに電源が入ります。
起動時のブザーが鳴ります。
- (3) Windows が自動的に USB ドライバのインストールを開始します。
- (4) コンピュータの画面に、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示されるまでお待ちください。表示されると、ドライバのインストールは完了です。



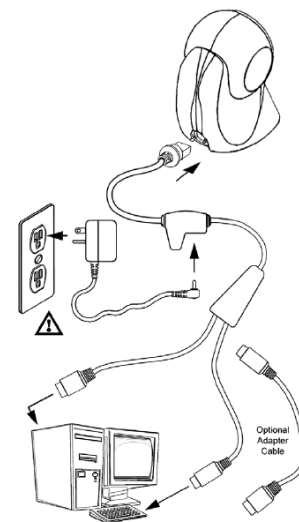
MS7120-AC-K の接続

動作環境

コンピュータ	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)
OS	WindowsXP/2000/Me/98SE/NT/95/MS-DOS
接続するコネクタ	PS/2 キーボードポート、Mini-Din6Pin コネクタ
制限事項	キーボードインターフェースは全ての環境での動作を保証するものではありません。上記 OS 以外のシステムでは動作確認していません。 コンピュータ本体の PS/2 キーボードポート (オンボード) に直接接続してください。PS/2 マウスポートに接続しても動作しません。

接続方法

- (1) コンピュータの電源を切ります。
- (2) コンピュータからキーボードのコネクタを抜きます。
- (3) Y 字型分岐ケーブルのオスコネクタを、コンピュータ本体のキーボードコネクタに接続します。
- (4) Y 字型分岐ケーブルのメスコネクタ (Din5 ピン) に、付属の変換ケーブルを接続し、変換ケーブルのメスコネクタ (Mini Din6 ピン) にキーボードを接続します。
- (5) パソコンの電源を入れます。
- (6) スキャナに電源が入ります。
起動時のブザーが鳴ります。



MS7120-AC-R の接続

動作環境

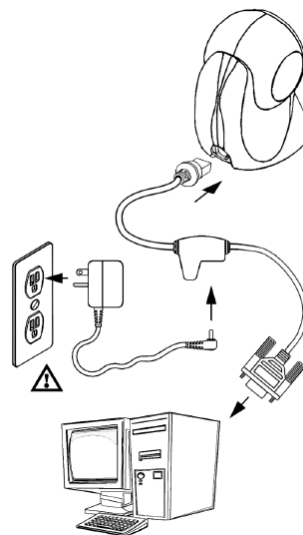
コンピュータ	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)
OS	-
接続するコネクタ	RS-232C ポート(シリアルポート、COM ポート) 、 D-Sub-9Pin コネクタ
制限事項	RS-232C シリアルインターフェースの出力データをコンピュータが受信するには、RS-232C のデータを受信できるソフトウェアやライブラリが必要です。 これらのソフトウェア類はお客様の元でご用意下さい。

接続方法

- (1) コンピュータの電源を切ります。
- (2) RS-232C ケーブルのコネクタ(D-Sub9Pin)をコンピュータの RS-232C ポートに接続します。
- (3) AC アダプター(付属品)を電源コンセントに接続します。
- (4) AC アダプター(付属品)を RS-232C ケーブルのジャックに接続します。
スキャナに電源が入ります。
起動時のブザー鳴ります。
- (5) コンピュータの電源を入れます。

通信パラメータの設定

設定メニュー「SECTION G RS-232C の設定」から、ホストに適切な通信パラメータのメニューをスキャンして、スキャナのパラメータを設定してください。



X
はじめに

ご購入時のバーコードスキャナは、工場出荷時のデフォルト(初期設定)に設定されています。バーコードスキャナの設定はお客様のもとで簡単に変更していただけます。

本紙に記載されたバーコード・メニューをスキャナで読み取ることで、設定は変更されます。設定された内容は、バーコードスキャナ本体の不揮発性メモリに保存されます。電源を切ったあとも、設定は保存されています。

なお、巻末の「付録 初期設定」のバーコードメニューを読み取ると、出荷時の状態に戻すことができます。

記号	意味
* (アスタリスク)	デフォルト設定(工場出荷時の設定)
~ (チルダ)	「マルチ・コード方式」による設定が必要です。 設定の方法については次項を参照してください。

X

設定の方法

バーコードスキャナの設定の方法は「シングル・コード方式」と「マルチ・コード方式」の2通りの方法があります。

シングル・コード方式

目的の設定バーコード・メニューのみを1回読み取る方法です。

「設定開始/設定終了」のメニューは読み取る必要がありません。

「許可」または「禁止」など、どちらかひとつを選択する設定の場合に使う設定の方法です。

手順	操作	例
1	バーコードスキャナの電源を入れます。	
2	バーコードスキャナで設定メニューを読み取ります。	A-4「Code39 読取禁止」を読み取る。
3	ブザーが鳴って、設定が変更されます。以上で終了です。	バーコードスキャナは Code39 を読み取らないように設定されます。

マルチ・コード方式

複数の設定バーコード・メニューを読み取る方法です。

「設定開始/設定終了」のメニューを読み取る必要があります。

(設定開始と設定終了は同じバーコードです)

「読み取り桁数を10桁に設定する」、「プリフィックスにアルファベットのAを設定する」といった値(パラメータ)を指定する場合に使う設定の方法です。

関連ページ「M-1 コード・バイトの使用方法」も参照してください。

手順	操作	例
1	バーコードスキャナの電源を入れます。	
2	バーコードスキャナで設定メニュー「設定開始/設定終了」を読み取ります。ブザーが3回鳴ります。	
3	バーコードスキャナで設定メニューを読み取ります。	最小読取桁数を1桁に設定する場合 A-17 「最小読取桁数」を読み取る。 次に M-2 「コード・バイト(値設定)」から[0]-[0]-[1]の順番で読み取る。
4	バーコードスキャナで設定メニュー「設定開始/設定終了」を読み取ります。ブザーが3回鳴ります。以上で終了です。	

X
設定の方法(続き)

マルチ・コード方式で使用する「設定開始/設定終了」
(設定開始と設定終了は同じバーコードです)



設定を中止する場合は、「設定終了」を読み取らず、バーコードスキャナの電源を切ってください。

工場出荷時の設定(デフォルト)に戻すには

「デフォルト」をバーコードスキャナで読み取ると、各設定は工場出荷時の設定（デフォルト）に設定されます。

インターフェースの設定について：

インターフェース	説明
PS/2 接続キーボード・ USB 接続	「デフォルト」を読み取ると、各設定がデフォルトに設定されます。 キーボード関連の設定（SECTION H）の各パラメータがデフォルト値に設定されます。
RS-232C	「デフォルト」を読み取ると、各設定がデフォルトに設定されます。 RS-232C 関連の設定（SECTION G）の各パラメータがデフォルト値に設定されます。

デフォルト



データを出力する順番

プリフィックス、サフィックス、コード識別子、バーコード・データの出力順を下記の「データ出力順の表」に示します。

データ出力順の表
(左側が先頭)

設定項目	出力データ													
	標準のプリフィックス		ユーザー指定のプリフィックス	標準のコード識別子 Prefix ID	ユーザー指定のコード識別子 *1	バーコードデータ	ユーザー指定のコード識別子 *1	標準のコード識別子 Suffix ID	ユーザー指定のサフィックス	標準のサフィックス				
設定メニュー参照ページ	E-8	E-13	E1~E2	E-8 E-9	E-3~E-7		E-3~E-7	E-15	E-17 E-18	E-14			E-15	
キャラクタ (ASCII)	STX	HT	任意指定	固定選択	任意指定		任意指定	固定	任意指定	HT	CR	LF	ETX	
デフォルト桁数	禁止	禁止	未設定	未設定	未設定	-	未設定	未設定	未設定	禁止	許可	許可	禁止	
	1	1	1-10	1(2)*2	1	-	1	1	1-10	1	1	1	1	
以下は例														
設定方法 *3 コード・バイト	■	■	065	■	071		071	■	166 *7	■	■	■	■	
RS-232 の出力														
ASCII	STX	HT	A	F	G		G	F	-	HT	CR	LF	無し	
16進数 /HEX	02	09	41	46	47		47	46	-	09	0D	09	03	
PS/2キーボード USBキーボード での出力	無し *4	TAB	A	F	G	-	G	F	TAB	TAB	ENTER	無し *6	無し *5	

- *1 ユーザー指定のコード識別子：
出力する位置はバーコード・データの前か後のどちらか一方です。
初期設定は「バーコード・データの前」です。
- *2 標準のコード識別子：
標準のコード識別子については、1桁の場合と2桁の場合があります。
キャラクタについては該当ページを参照してください。
- *3 設定方法：
■印はシングル・コード方式で設定します。(メニューを1つ読み取るのみ)
3桁の数値はマルチ・コード方式で設定するときの、
キャラクタを指定するコード・バイトの数値です。(例：065=A)
- *4 *5 *6 キーボード接続時は設定やPCの環境によって出力データが変わります
詳細は「H-10」を参照してください。
- *6 LF(Line Feed)はアプリケーションによって無効になる場合と ENTER として受け取る場合の
2通りの結果があります。改行が2回入力される場合は LF を禁止に設定してください。
*7 詳細は「H-10」を参照してください。ファンクション・キーの設定値は2通りあります。

SECTION A

UPC/EAN(JAN)(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

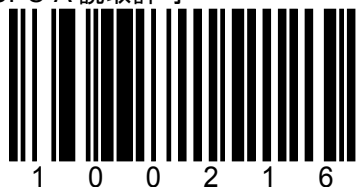
* UPC/EAN(JAN)読取許可



UPC/EAN(JAN)読取禁止



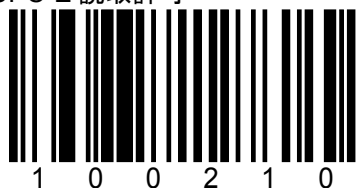
* UPC-A 読取許可



UPC-A 読取禁止



* UPC-E 読取許可



UPC-E 読取禁止

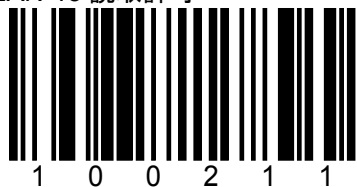


SECTION A

UPC/EAN(JAN)(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* EAN-13 読取許可



EAN-13 読取禁止



* EAN-8 読取許可



EAN-8 読取禁止



* 自動2回一致 UPC-E 読取許可



自動2回一致 UPC-E 読取禁止



SECTION A

Code 128

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* Code 128 読取許可



Code 128 読取禁止



UCC/EAN-128
'J'C1'コード・フォーマット許可



* UCC/EAN-128
'J'C1'コード・フォーマット禁止



UCC/EAN-128 を読み取ると、先頭にJ'C1 を出力
します。

SECTION A

Code 39(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* Code 39 読取許可



Code 39 読取禁止

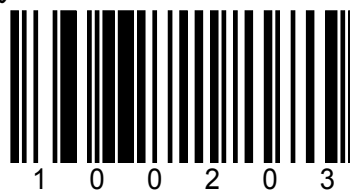


Code 39 のチェック・ディジット検査する



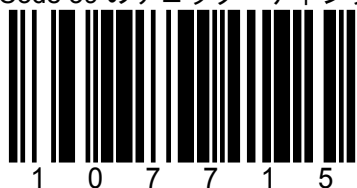
チェック・ディジット(モジュラス 43)が付加された Code39 のみ読取ります。

* Code 39 のチェック・ディジット検査しない



チェック・ディジット(モジュラス 43)の検査をしません。チェック・ディジットが付加されていない Code39 と付加されている Code39 の両方を読み取ります。

Code 39 のチェック・ディジットを出力する



* チェック・ディジットを出力しない

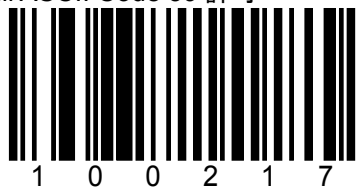


SECTION A

Code 39(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

Full ASCII Code 39 許可



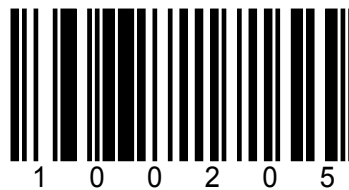
* Full ASCII Code 39 禁止



PARAF (イタリアの薬局コード)
サポート許可



* PARAF サポート禁止



スキャナは Code 39 を PARAF フォーマットにしません。

TRI-OPTIC コード許可



* TRI-OPTIC コード禁止



SECTION A

Interleaved 2 of 5(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* Interleaved 2 of 5 (ITF) 読取許可



インターリブド 2 of 5 (ITF) 禁止



チェック・ディジットを検査する



チェック・ディジット(モジュラス 10)が付加された ITF のみ読取ります。

* チェック・ディジットを検査しない



チェック・ディジット(モジュラス 10)の検査をしません。チェック・ディジットが付加されていないITFと付加されているITFの両方を読み取ります。

チェック・ディジットを出力する



* チェック・ディジットを出力しない



SECTION A

Interleaved 2 of 5(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

ALT チェック・ディジット ITF 許可



* ALT チェック・ディジット ITF 禁止



12桁 ITF チェック・ディジット (1桁目) 許可



* 標準チェック・ディジット



この設定では、ITF チェック・ディジットを許可する必要があります。

12桁 ITF チェック・ディジット計算が0桁目ではなく1桁目から開始します。

ITF/Code 39 フィルタ 許可



* ITF/Code 39 フィルタ禁止



SECTION A

Interleaved 2 of 5(3)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。



1 つ目の ITF 読取可能桁数の固定を設定するには、上記のバーコードとセクション M の適切なコード・バイトを読取ります。[†]



2 つ目の ITF 読取可能桁数の固定を設定するには、上記のバーコードとセクション M の適切なコード・バイトを読取ります。[†]

例：14 桁の ITF のみ読み取る設定。

順番	参照項目	読み取るメニュー
1	x	設定開始/設定終了
2	A-8	ITF 読取可能桁数の固定 1
3	M-2	コード・バイト「0」
4	M-2	コード・バイト「1」
5	M-2	コード・バイト「4」
6	x	設定開始/設定終了



† x ページのマルチ・コード方式を参照してください。

ITF の最小読取桁数を設定するには、上記のバーコードとセクション M の適切なコード・バイトを読取ります。[†]

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

Standard 2 of 5 読取許可



* Standard 2 of 5 読取禁止



~ Standard 2 of 5 読取桁数の固定



† x ページのマルチ・コード方式を参照してください。

デコードする最少 ITF 桁数を指定するには、上記のバーコードとセクション M の適切なコード・バイトを読取ります。[†]

SECTION A

その他の 2 of 5(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

Matrix 2 of 5 読取許可



* Matrix 2 of 5 読取禁止



15桁 Airline 2 of 5 読取許可



* 15桁Airline 2 of 5禁止



SECTION A

その他の 2 of 5(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

13桁 Airline 2 of 5 読取許可



* 13桁 Airline 2 of 5 読取禁止



Hong Kong(ホンコン)2 of 5 読取許可



* Hong Kong(ホンコン)2 of 5 読取禁止



SECTION A

NW-7(Codabar)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* NW-7 読取許可



NW-7 読取禁止



デュアル・フィールド NW-7 許可



* デュアル・フィールド NW-7 禁止



デュアル NW-7 内 タブ 許可



* デュアル NW-7 内 タブ 禁止



設定するにはデュアル・フィールド Codabar を許可にする必要があります。
 スキャナは、デュアル・フィールド NW-7 のフィールド間に Tab を挿入します。

SECTION A

Code93 Code11

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* Code 93 読取許可



Code 93 読取禁止



Code 11 読取許可



* Code 11 読取禁止



SECTION A

TELEPEN

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

TELEPEN 読取許可



* TELEPEN 読取禁止



ALPHA TELEPEN 読取許可



* ALPHA TELEPEN 読取禁止



SECTION A

Plesseyコード(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

MSI Plessey 読取許可



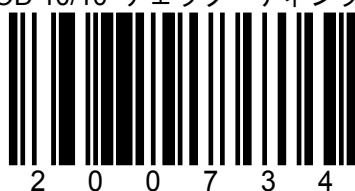
* MSI Plessey 読取禁止



*チェック・ディジット検査しない



MOD 10/10 チェック・ディジット 検査する



* MOD 10 チェック・ディジット検査する



2 桁モジュラス 10 チェック・ディジット(ダブル
チェック・ディジット)が付加された MSI/Plessey
のみ読み取ります。

1 桁モジュラス 10 チェック・ディジット(シン
グル チェック・ディジット)が付加され
た MSI/Plessey のみ読み取ります。

SECTION A

Plesseyコード(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

チェック・ディジットを出力する



* チェック・ディジットを出力しない



このオプションは「MSI Plessey チェック・ディジット検査する」に設定した場合にのみ有効です。

UK Plessey 読取許可



* UK Plessey 読取禁止



UK Plessey AからXに 変換許可



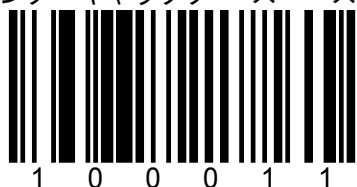
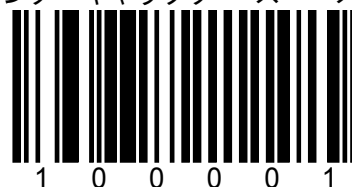
* UK Plessey AからXに 変換禁止



SECTION A

その他のデコード設定

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

ダブル・ボーダー要求/
インターキャラクタ・スペース 許可* ダブル・ボーダー要求/
インターキャラクタ・スペース 禁止

独立コード(Code39 や NW-7)のキャラクタ間ギャップが広い(細バーの3倍よりも大きい)バーコードに対して設定します。

デコードのアルゴリズムが変わるので、規格寸法どおりのバーコード読取に影響がでることがあります。

~ 最小読取桁数[†]

最小読取桁数の初期値(デフォルト)は「4桁」です。UPC/EAN以外のバーコード(可変長桁)の最小読取桁数を指定する際、このコードと適当なコード・バイトを併用してください。[†]

関連ページ「M-1 コード・バイトの使用方法」も参照してください。

~ 読取桁数の固定[†]

UPC/EAN以外のバーコード(可変長桁)の読取桁数を固定します。

設定する際、このコードと適当なコード・バイトを併用してください。[†]

例：読取桁数を8桁のみに設定する。

順番	参照項目	読み取るメニュー
1	x	設定開始/設定終了
2	A-17	最小読取桁数
3	M-2	コード・バイト「0」
4	M-2	コード・バイト「0」
5	M-3	コード・バイト「8」
6	x	設定開始/設定終了

[†] x ページのマルチコード方式を参照してください。

SECTION A

読取桁数の固定(1)

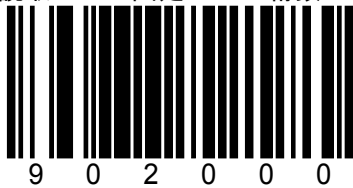
* 印は初期設定値(デフォルト)です。

バーコードの読取桁数を設定します。設定可能な組み合わせは7つまでです。
 バーコードの種類ごとに読取桁数を指定できます。

例：8桁の Code39 のみ読み取る

順番	参照項目	読み取るメニュー
1	x	設定開始/設定終了
2	A-18	読取コード固定 #1： 桁数
3	M-2、M-3	コード・バイト「0」「0」「8」の順番で読み取ります。
4	A-18	読取コード固定 #1： コード・タイプ
5	M-2、M-3 M-5	コード・バイト「0」「8」「0」の順番で読み取ります。 バーコードの種類を示すコード・バイト値は M-5 の表を参照してください。
6	A-19、A-20	他にも設定する場合は同様に#2~#7について設定します。
7	x	設定開始/設定終了

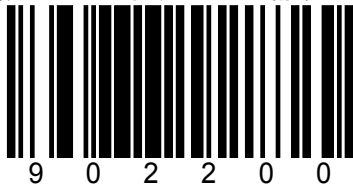
~ 読取コード固定 #1： 桁数



~ 読取コード固定 #1： コード・タイプ



~ 読取コード固定 #2： 桁数



~ 読取コード固定 #2： コード・タイプ



SECTION A

読取桁数の固定(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

~ 読取コード固定 #3 : 桁数



~ 読取コード固定 #3 : コード・タイプ



~ 読取コード固定 #4 : 桁数



~ 読取コード固定 #4 : コード・タイプ



~ 読取コード固定 #5 : 桁数



~ 読取コード固定 #5 : コード・タイプ



SECTION A

読取桁数の固定(3)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

~ 読取コード固定 #6 : 桁数



~ 読取コード固定 #6 : コード・タイプ



~ 読取コード固定 #7 : 桁数



~ 読取コード固定 #7 : コード・タイプ



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

RSS14 読取許可



* RSS14 読取禁止



* RSS14 チェックディジットを出力する

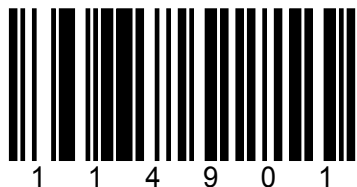


RSS14 チェックディジットを出力しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* GS1 Databar アプリケーション ID を出力する



GS1 Databar アプリケーション ID を出力しない



初期設定はアプリケーション識別子(Application identifier)の"01"を出力します。

* GS1 Databar コード ID を出力する



GS1 Databar コード ID を出力しない



初期設定はコード識別子(Symbology identifier)の"je0"を出力します。

SECTION A

GS1 Databar Limited / RSS Limited(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

GS1 Databar Limited 読取許可



* GS1 Databar Limited 読取禁止



* GS1 Databar Limited チェックディジットを出力する



GS1 Databar Limited チェックディジットを出力しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* GS1 Databar Limited アプリケーション ID を出力する



GS1 Databar Limited アプリケーション ID を出力しない



初期設定はアプリケーション識別子(Application identifier)の"01"を出力します。

* GS1 Databar Limited コード ID を出力する



GS1 Databar Limited コード ID を出力しない



初期設定はコード識別子(Symbology identifier)の"je0"を出力します。

SECTION A GS1 Databar Expanded / RSS Expanded

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

GS1 Databar Expanded 読取許可



* GS1 Databar Expanded 読取禁止



* GS1 Databar Expanded コード ID を出力する



GS1 Databar Expanded コード ID を出力しない



初期設定はコード識別子(Symbology identifier)の”je0”を出力します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

2桁 アド・オン 許可



* 2桁 アド・オン 禁止



* 2桁・2回一致 許可



2桁・2回一致 禁止



バーコードおよび2桁アド・オンを読み取り、データが2回一致した後にデータを出力します。

5桁アド・オン 許可

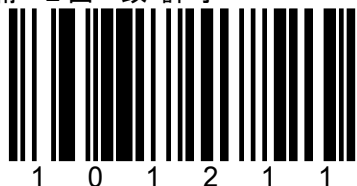


* 5桁アド・オン 禁止



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

5桁・2回一致 許可



* 5桁・2回一致 禁止

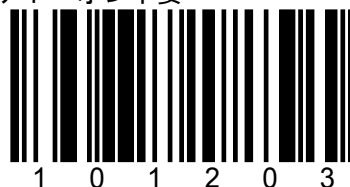


バーコードおよび5桁 アド・オンを読み取り、データが2回一致した後にデータを出力します。

アド・オン要求

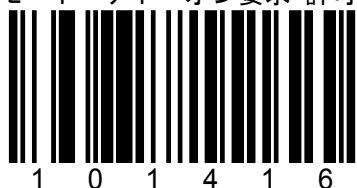


* アド・オン不要



すべてのUPC/EANについてアド・オンを要求します。

リモート・アド・オン要求 許可



* リモート・アド・オン要求 禁止



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

Book land (978) アド・オン 許可

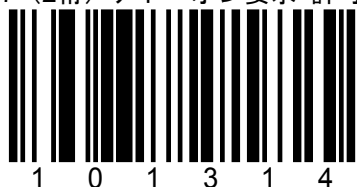


* Book land (978) アド・オン 禁止



978で始まるEAN-13 コードはアド・オンを要求
しません。

977 (2桁) アド・オン要求 許可



* 977 (2 桁) アド・オン要求 禁止



977で始まるEAN-13 コードは2桁アド・オンを要
求します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

Code 128 グループセパレータ 許可



* Code 128 グループセパレータ 禁止



RS-232C接続に使用。
Code128(UCC/EAN-128)のGS(HEX=1D)を出力
します。

* アド・オン確認時間 100 msec



アド・オン確認時間 200 msec

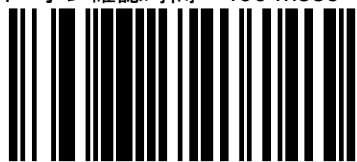


UPC/EANのアド・オンのチェックに100 msecの
時間がかかります。

UPC/EAN のアド・オンのチェックに 200
msec の時間がかかります。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

アド・オン確認時間 400 msec

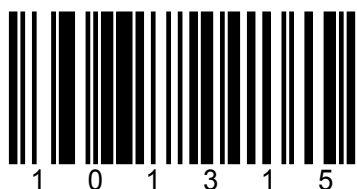


3 0 1 3 4 0

UPC/EANのアド・オンのチェックに400 msecの時間
がかかります。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

ISBNチェック・ディジット出力 許可



* ISBNチェック・ディジット出力 禁止



このオプションは すべての製品に
は適用されません。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

ISBN変換 許可



* ISBN変換 禁止



978で始まるEAN-13(JAN-13)をISBN(10桁)に変換します。

978を取り除き、最終1桁をISBN用チェック・ディジットに変換します。

例：JAN-13「9789572216675」は次のよう出力します。

「9572216678」
(8はISBNチェック・ディジット)

このオプションは すべての製品には適用されません。

ISBN変換 再変換 許可



* ISBN変換 再変換 禁止



「ISBN変換 許可」に設定したときに有効です。

例：JAN-13「9789572216675」は次のよう出力します。

「9572216678」(8はISBNチェック・ディジット)
さらに
「9-57221-667-8」

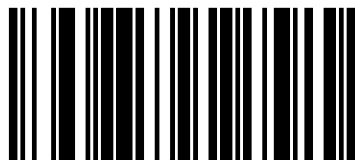
このオプションは すべての製品には適用されません。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

注意：各インターフェースの初期設定メニューは付録に記載しています。

付録（巻末）の設定メニューをご使用いただくことをお奨めいたします。

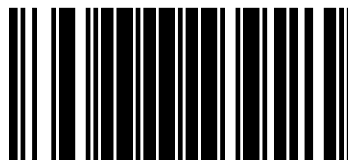
RS-232 (RS-232C)



4 1 5 5 5 4

スキャナは RS-232 ±12 V のシリアル出力に設定されます。

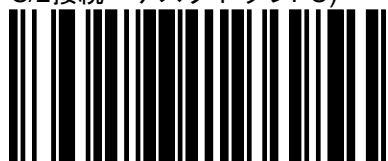
キーボード・ウェッジのロード



9 9 9 9 9 4

キーボード・エミュレーションを設定する前にこのバーコードを読取ってください。

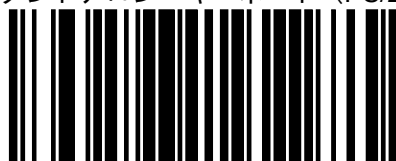
キーボード・エミュレーション
(PS/2接続 デスクトップPC)



5 1 5 5 1 4 3

デスクトップPCなどに接続する設定。
スキャナの分岐ケーブルにPCのキーボードを接続し、スキャナとキーボードを併用する設定です。

キーボード・エミュレーション
スタンドアロン・キーボード (PS/2接続 ノートブックPC)



5 1 5 5 1 5 3

ノートブック PC などに接続する設定。
分岐ケーブルに PC の PS/2 キーボードを接続しない時に設定します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

Low Speed 外付けUSBデフォルトのロード†



†メンテナンス用。

MS7120に専用USBケーブルMX009を接続するときのUSBインターフェース設定をロードします。

Low Speed USB †



†メンテナンス用。

通常は使用しないでください。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* 1スキャンバッファ



読取範囲内に複数バーコードがあるとき
1個のバーコードを読み取ります。

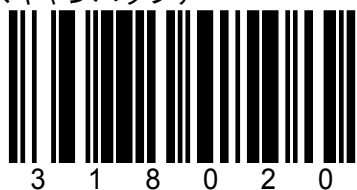
一度、読取範囲外にバーコードを外すか、「同一
シンボル・タイムアウト」で設定された時間が経
過するまでは同一バーコードを読み取りません。

2スキャンバッファ



読取範囲内に複数バーコードがあるとき
2個のバーコードを読み取ります。

3スキャンバッファ



4スキャンバッファ



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

5スキャンバッファ



6スキャンバッファ



7スキャンバッファ



8スキャンバッファ



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* 一致回数 0回 (無し) /1回の読取成功で正読



1回の「読取成功」によって「正読(Good-Read)」と判定します。

「読取成功」とは、スキャナが受光したバーコードの波形(アナログ・データ)をデジタル・データに変換(デコード)できた、という意味です。

変換したデータが、バーコード・シンボルが示したデータ通りに正しく変換したという意味ではありません。1回目の「読取成功」が間違っただデータをデコードしたときは、間違っただ結果を出力します。

これは、バーコードの品質が低い場合などに発生しやすい症状です。

読み取ったデータの正確さを向上させるには、「一致読取」の回数を増やします。

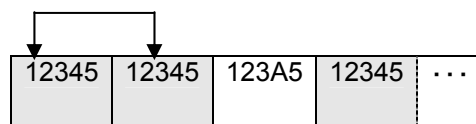
一致回数1回(連続した同一のデコード2回)



「正読(Good-Read)」するには、連続した2つの同じ「読取成功」データが必要です。

図例：バーコード・データが「12345」のとき

2つの同じ「読取成功」データ。
一致した回数は1回。



一致回数2回(連続した同一のデコード3回)



一致回数3回(連続した同一のデコード4回)



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

一致回数4回(連続した同一のデコード5回)



一致回数5回(連続した同一のデコード6回)



一致回数6回(連続した同一のデコード7回)



一致回数7回(連続した同一のデコード8回)



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

オプションの同一シンボル・チェック



新しいバーコードとして認識するには
1つの異なるキャラクターが必要です。

*標準の同一シンボル・チェック



新しいバーコードとして認識するには
3つの異なるキャラクターが必要です。

SECTION D

同一シンボル・タイムアウト(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

同じバーコード（同一シンボル）を読取るまでの時間の設定です。

1. あらかじめ設定されたタイムアウト

ここに記載された設定用バーコードを1つ読み取ると、スキャナにあらかじめ設定されたタイムアウトを設定できます。

2. ユーザー指定のタイムアウト

設定値を50 msec毎の間隔で、50 msecから6350（6.35秒）msecの範囲で設定することができます。

同一シンボル・タイムアウトなし



同一シンボル・タイムアウト100 msecs



同一シンボル・タイムアウト 200 msecs



* 同一シンボル・タイムアウト 500 msecs



同一シンボル・タイムアウト 1200 msecs



同一シンボル・タイムアウト 2000 msecs



SECTION D

同一シンボル・タイムアウト(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

同一シンボル・タイムアウト 無限



別のバーコードを読み取るまで同じバーコード
を読み取りません

~ ユーザー指定



任意で同一シンボル・タイムアウトの時間を
設定します。

このバーコードの次に「コード・バイト」を
読み取って「001」から「127」の値を設定
します。

「001」は50msecs

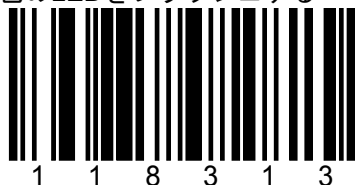
「127」は6350 msecs

SECTION D

LED(確認ランプ)の通知

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

再読取が可能な場合、
緑色のLEDをフラッシュする



* 再読取が可能な場合、
LEDをフラッシュしない



同一シンボル・タイムアウトが経過したことを
通知します

全ての機種に有効な設定ではありません。

逆表示LED



赤色 = レーザー On
緑色 = 正読

* 通常表示LED



緑色 = レーザー On
赤色 = 正読

全ての機種に有効な設定ではありません。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* 通常の音調



音調1



音調2



音調3



音調4



音調5



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

音調6



ブザーなし



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

高速ビープ音 許可



* 高速ビープ音 禁止



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

BELコマンド受信時にブザーを鳴らす



* BELコマンド無視



RS-232Cにのみ有効な設定。

ホストからアスキーのBELキャラクタを受信するとスキャナはブザーを鳴らします。
BELキャラクタの前に、200 msec 以内に数字が送信された場合、スキャナはその数字の数だけブザーを鳴らします。

SECTION D

キャラクタ間の出力遅延(1)

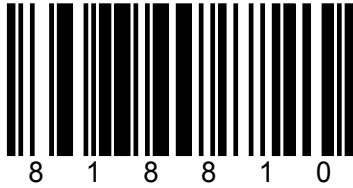
* 印は初期設定値(デフォルト)です。

キャラクタ間の出力遅延：

スキャナからホストへ出力する1つのバーコード・データの1キャラクタごとの間に遅延時間を設定します。スキャナでのホスト入力バッファのオーバーフローを防止するために役立ちます。

USB接続では無効な設定です。

* 1 msec



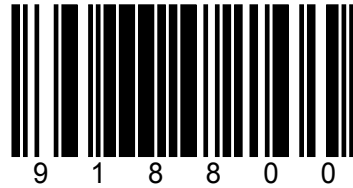
10 msec



25 msec



~ ユーザー指定



次に「コード・バイト」で値を設定します。
設定可能なディレイ範囲は1~255 msecです。

SECTION D

キャラクタ間の出力遅延(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* 遅延なし

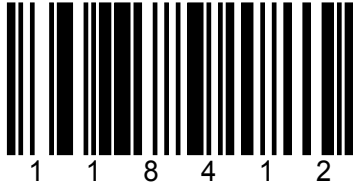


SECTION D

通信タイムアウト(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

通信タイムアウト 許可



* 通信タイムアウト 禁止



RS-232C接続にのみ有効です。

* データ出力前に ブザーを鳴らす



データ出力後に ブザーを鳴らす



スキャナはデータを出力する前にブザーを鳴らします。

スキャナはデータを出力した後にブザーを鳴らします。

~ ユーザー指定 通信タイムアウト



* 通信タイム アウト (2秒)



SECTION D

通信タイムアウト(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

通信タイムアウト (1秒)



通信タイムアウト (4秒)



タイムアウト時に ブザーを3回鳴らす



* タイムアウト時に ブザーなし



タイムアウト時に ラズベリー音を鳴動



* タイムアウト時に ラズベリー音なし



※ラズベリー音：ブブブという音です。

SECTION D

ホストからのコマンド制御(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

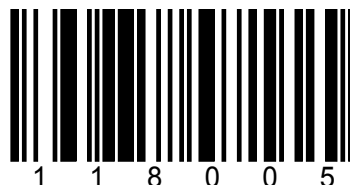
D/E無効コマンド 許可



RS-232C接続のみに有効。

ホストから ASCII “D”を受信するとスキャナは読取を無効にします。
ASCII “E”を受信すると読取が有効になります。

* D/E無効コマンド 禁止



D/Eコマンドを監視しません。

Z/RタイプD/E シミュレーション 許可



RS-232C接続のみに有効。

ホストから ASCII “Z”を受信するとスキャナは読取を無効にします。
ASCII “R”を受信すると読取が有効になります。

* Z/RタイプD/E シミュレーションなし



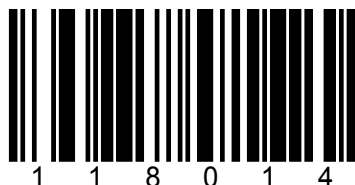
Z/Rコマンドを監視しません。

SECTION D

ホストからのコマンド制御(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

F/Lレーザー・コマンド 許可

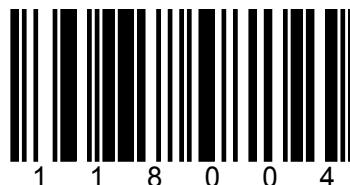


RS-232C接続のみに有効。

ホストから ASCII “F”を受信するとレーザー光はオフになります。

ASCII “L”を受信するとレーザー光はオンになります。

* F/Lレーザー・コマンド 禁止



F/Lコマンドを監視しません。

M/Oモーター・コマンド 許可



RS-232C接続のみに有効。

ホストから ASCII “O”を受信するとスキャナのモーターはオフになります。

ASCII “M”を受信するとモーターはオンになります。

* M/Oモーター・コマンド 許可

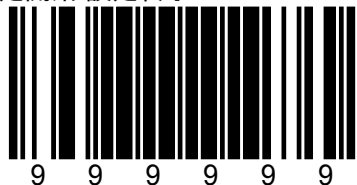


M/Oコマンドを監視しません。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

プリフィックス・キャラクタは10キャラクタまで設定できます。全てのバーコードに付加されます。

設定開始/設定終了



~ プリフィックス #1



例：プリフィックス 1 桁目にアルファベット「A」を設定する

1桁目のプリフィックス・キャラクタを設定します。「コード・バイト」で値を設定します。

順番	参照項目	読み取るメニュー
1	x	設定開始/設定終了
2	E-1	プリフィックス #1
3	M-2	コード・バイト「0」
4	M-3	コード・バイト「6」
5	M-2	コード・バイト「5」
6	x	設定開始/設定終了

コード・バイトの値についてはM-1を参照してください。

~ プリフィックス #2



~ プリフィックス #3



2桁目のプリフィックスを設定します。

3桁目のプリフィックスを設定します。

~ プリフィックス #4



~ プリフィックス #5



4桁目のプリフィックスを設定します。

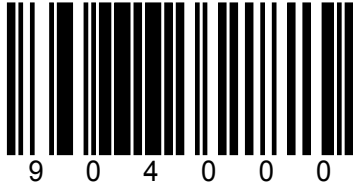
5桁目のプリフィックスを設定します。

E-2 プリフィックスとサフィックス
SECTION E

ユーザー指定のプリフィックス(2)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

~ プリフィックス #6



6桁目のプリフィックスを設定します。

~ プリフィックス #7



7桁目のプリフィックスを設定します。

~ プリフィックス #8



8桁目のプリフィックスを設定します。

~ プリフィックス #9



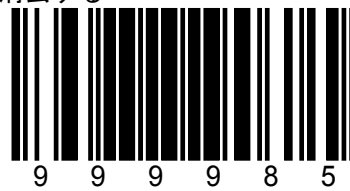
9桁目のプリフィックスを設定します。

~ プリフィックス #10



10桁目のプリフィックスを設定します。

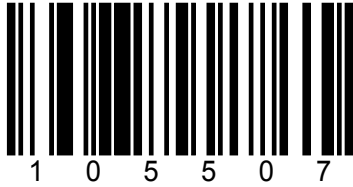
* ユーザー指定のプリフィックスを
消去する



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

ユーザー指定のコード識別子の位置

* コード識別子をバーコードの前に付加



コード識別子をバーコードの後に付加



ユーザー指定のコード識別子(バーコードの種類別に設定)

~ UPC-A のコード識別子を設定[†]



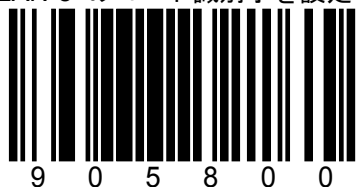
~ UPC-E のコード識別子を設定[†]



† マルチ・コード方式 次に「コード・バイト」で値を設定します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

~ EAN-8 のコード識別子を設定[†]



~ EAN-13 のコード識別子を設定[†]



~ Code 39 のコード識別子を設定[†]



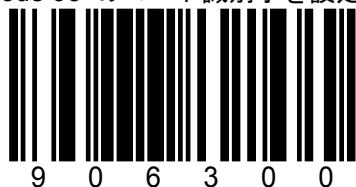
~ Code 128 のコード識別子を設定[†]



† マルチ・コード方式 次に「コード・バイト」で値を設定します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

~ Code 93 のコード識別子を設定[†]



~ Code 11 のコード識別子を設定[†]



~ TELEPEN のコード識別子を設定[†]



~ TRI-OPTIC のコード識別子を設定[†]



† マルチ・コード方式 次に「コード・バイト」で値を設定します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

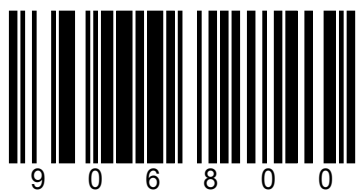
~ Standard 2 of 5 のコード識別子を設定[†]



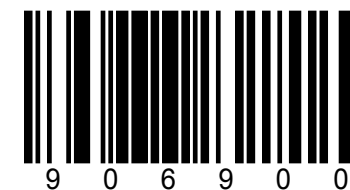
~ Interleaved2of5 のコード識別子を設定[†]



~ Matrix 2 of 5 のコード識別子を設定[†]



~ Airline 2 of 5 のコード識別子を設定[†]



† マルチ・コード方式 次に「コード・バイト」で値を設定します。

E-7 プリフィックスとサフィックス
SECTION E

ユーザー指定のコード識別子(5)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

~ MSI Plessey のコード識別子を設定[†]



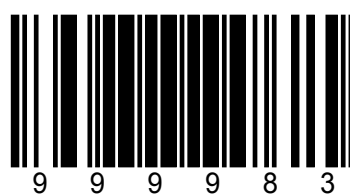
~ UK Plessey のコード識別子を設定[†]



~ NW-7(Codabar) のコード識別子を設定[†]



* ユーザー指定のコード識別子を消去



† マルチ・コード方式 次に「コード・バイト」で値を設定します。

E-8 プリフィックスとサフィックス

SECTION E 標準のプリフィックス(1) /標準のコード識別子[データの前](1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

標準のプリフィックス:

スキャナにあらかじめ設定されたキャラクタをプリフィックスとして設定します。

STX プリフィックス 許可



* STX プリフィックス 禁止



RS-232C接続に有効な設定です。

スキャナはStart of TeXt (ASCII 02H) を各バーコード・データの前に付加して出力します。

スキャナはStart of TeXt (ASCII 02H) を各バーコード・データの前に付加して出力します。

標準のコード識別子[データの前](プリフィックスID):

スキャナにあらかじめ設定されたキャラクタをコード識別子として設定します。

コード識別子はバーコードデータの前に付加されます。

AIM 準拠のコード識別子 許可





* AIM 準拠のコード識別子 禁止



すべての機種に有効な設定ではありません。

SECTION E

標準のコード識別子[データの前](2)

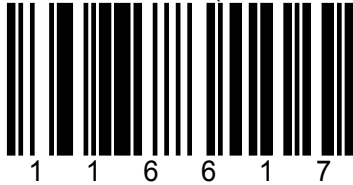
  印は初期設定値(デフォルト)です。

標準のコード識別子[データの前](プリフィックスID) :

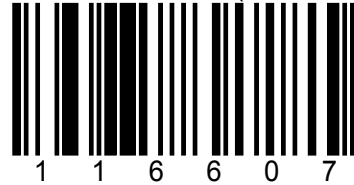
スキャナにあらかじめ設定されたキャラクタをコード識別子として設定します。

コード識別子はバーコードデータの前に付加されます。

UPC コード識別子(プリフィックスID) 許可



* UPC コード識別子(プリフィックスID) 禁止

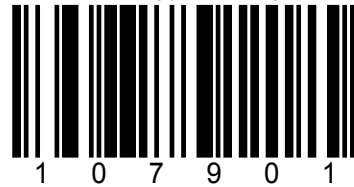


バーコード	キャラクタ
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-13	F
EAN-8	FF

NCR コード識別子 許可



* NCR コード識別子 禁止



バーコード	キャラクタ
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-13	F
EAN-8	FF
Code39	B1
ITF	B2
Code128,その他	B3

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

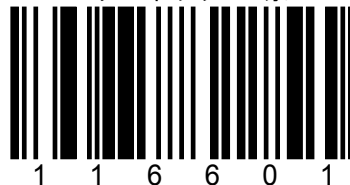
標準のプリフィックス:

スキヤナにあらかじめ設定されたキャラクタをプリフィックスとして設定します。

Tab プリフィックス 許可



* Tab プリフィックス 禁止



スキヤナはTAB (ASCII 09H) をバーコード・データの前に付加して出力します。

SECTION E

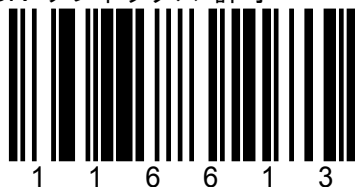
標準のサフィックス(1)

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

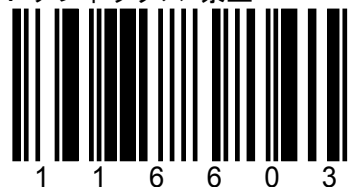
標準のサフィックス:

スキャナにあらかじめ設定されたキャラクタをサフィックスとして設定します。

* CR サフィックス 許可



CR サフィックス 禁止



スキャナはバーコード・データの後にASCIIの
Carriage Return(**HEX=0D**)を出力します。

USB接続、PS/2接続の場合は「ENTER」として
出力します。

* LF サフィックス 許可



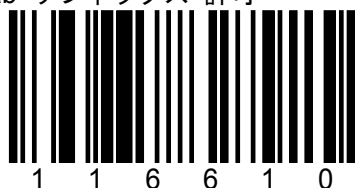
LF サフィックス 禁止



スキャナはバーコード・データの後に
Line Feed(**HEX=0A**)を出力します。

USB接続、PS/2接続の場合は無効です。

Tab サフィックス 許可



* Tab サフィックス 禁止



スキャナはバーコード・データの後にASCIIの
Horizontal Tab (**HEX=09**)を出力します。

USB接続、PS/2接続の場合は「Tab」として出力
します。

E-15 プリフィックスとサフィックス

SECTION E

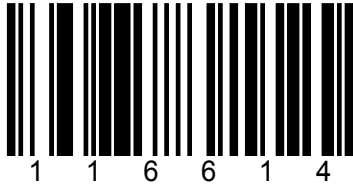
標準のサフィックス(2)/標準のコード識別子[データの後]

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

標準のサフィックス:

スキャナにあらかじめ設定されたキャラクタをサフィックスとして設定します。

ETX サフィックス 許可



ETX サフィックス 禁止



スキャナはバーコード・データの後にASCIIの
End of TeXt (HEX=03) を出力します。

標準のコード識別子[データの後](サフィックスID):

スキャナにあらかじめ設定されたキャラクタをコード識別子として設定します。
コード識別子はバーコードデータの後に付加されます。

UPC コード識別子(サフィックスID) 許可



* UPC コード識別子(サフィックスID) 禁止



バーコード	キャラクタ
UPC-A	A
UPC-E	E
EAN-13	F
EAN-8	F

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

サフィックス・キャラクタは10キャラクタまで設定できます。

設定開始/設定終了



~ サフィックス #1



例：サフィックス 1 桁目にアルファベット「B」を設定する

1桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。「コード・バイト」で値を設定します。

順番	参照項目	読み取るメニュー
1	x	設定開始/設定終了
2	E-1	プリフィックス #1
3	M-2	コード・バイト「0」
4	M-3	コード・バイト「6」
5	M-3	コード・バイト「6」
6	X	設定開始/設定終了

コード・バイトの値についてはM-1を参照してください。

~ サフィックス #2



~ サフィックス #3



2桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。「コード・バイト」で値を設定します。

3桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。「コード・バイト」で値を設定します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

サフィックス・キャラクタは10キャラクタまで設定できます。

~ サフィックス #4[†]



~ サフィックス #5[†]



4桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。
「コード・バイト」で値を設定します。

5桁目のサフィックス・キャラクタを設定し
ます。「コード・バイト」で値を設定します。

~ サフィックス #6[†]



~ サフィックス #7[†]



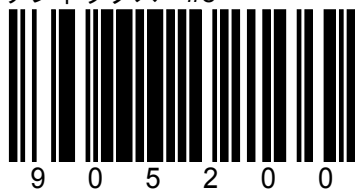
5桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。
「コード・バイト」で値を設定します。

6桁目のサフィックス・キャラクタを設定し
ます。「コード・バイト」で値を設定します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

サフィックス・キャラクタは10キャラクタまで設定できます。

~ サフィックス #8[†]



~ サフィックス #9[†]



8桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。「コード・バイト」で値を設定します。

9桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。「コード・バイト」で値を設定します。

~ サフィックス #10[†]



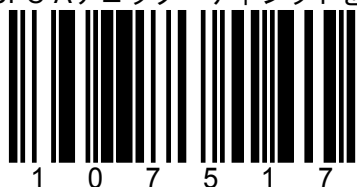
10桁目のサフィックス・キャラクタを設定します。「コード・バイト」で値を設定します。

* すべてのサフィックスを消去する



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

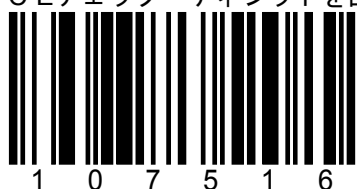
* UPC-Aチェック・ディジットを出力する



UPC-Aチェック・ディジットを出力しない



UPC-Eチェック・ディジットを出力する



* UPC-Eチェック・ディジットを出力しない



UPC-EをUPC-A(12桁)に 拡張する



* UPC-EをUPC-A(12桁)に 拡張しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

UPC-AをEAN-13に 変換する



* UPC-AをEAN-13に 変換しない



UPC-A (12桁)の先頭に「0」を付加し EAN-13 に変換します

UPC-Eの先頭「0」を出力する



* UPC-Eの先頭「0」を出力しない



UPC-E(8桁)のナンバーシステムキャラクター(1桁目の「0」)を出力します。

EAN-8をEAN-13に 変換する



* EAN-8をEAN-13へ変換しない



UPC-E(8桁)の前に「0」を5個付加して13桁にしデータを出力します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* UPC-Aナンバー・システムを出力する



UPC-Aナンバー・システムを出力しない



UPC-Aのナンバー・システムキャラクタ (1桁目)を出力します。

この設定の使用を避けることを推奨します。データベース内でナンバーが重複する可能性があります。

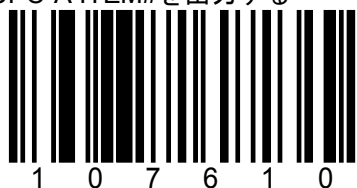
* UPC-A MFR #を 出力する



UPC-A MFR #を 出力しない



* UPC-A ITEM#を出力する

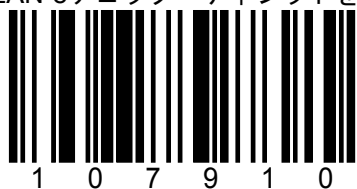


UPC-A ITEM#を出力しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* EAN-8チェック・ディジットを出力する



EAN-8チェック・ディジットを出力しない



* EAN-13チェック・ディジットを出力する

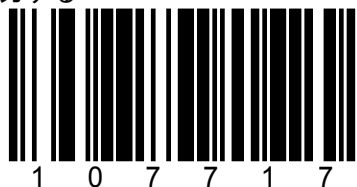


EAN-13チェック・ディジットを出力しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

スタート/ストップ・キャラクタを
出力する

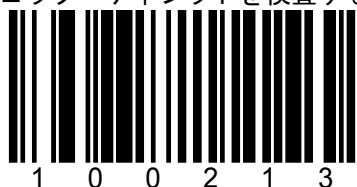


* スタート/ストップ・キャラクタを
出力しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

チェック・ディジットを検査する



*チェック・ディジットを検査しない



チェック・ディジット(モジュラス43)を含む
Code39のみ読み取ります。

チェック・ディジットを出力する



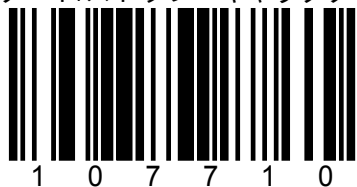
*チェック・ディジットを出力しない



「チェック・ディジットを検査する」設定のとき
に有効です。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

スタート/ストップ・キャラクタを出力する



Code39のスタート/ストップ・キャラクタ「*」を出力します。

* スタート/ストップ・キャラクタを出力しない

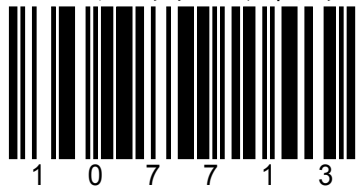


SECTION F

Code11とTELEPEN

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

Code11のチェック・ディジットを出力する



* Code11のチェック・ディジットを出力しない



TELEPENの^Lから E変換許可



* TELEPEN^Lから E変換禁止



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

チェック・ディジットを出力する



* チェック・ディジットを出力しない



UK Plessey 特別 フォーマット許可



* UK Plessey 特別 フォーマット禁止



誤ったストップ・キャラクタの 処理



* 規格準拠のストップ・キャラクタ 処理



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

チェック・ディジットなし



MOD 10/10チェック・ディジットを検査する



ダブル・チェック・ディジットを含むMSI Plesseyのみ読み取ります。

* MOD 10 チェック・ディジットを検査する



シングル・チェック・ディジット含むMSI Plesseyのみ読み取ります。

チェック・ディジットを出力する

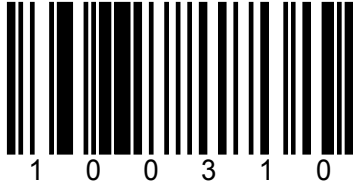


* チェック・ディジットを出力しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

ITFのチェック・ディジットを検査する



* ITFのチェック・ディジットを検査しない

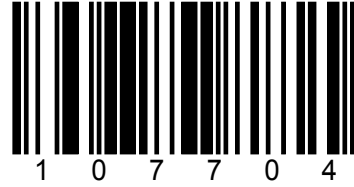


チェック・ディジット(モジュラス10)を含む
Interleaved 2 of 5(ITF)9のみ読み取ります。

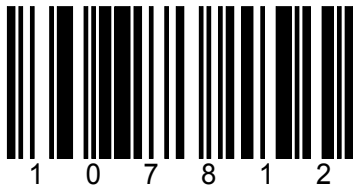
ITFのチェック・ディジットを出力する



* ITFのチェック・ディジットを出力しない



Matrix2of5のチェック・ディジットを出力する



* Matrix2of5のチェック・ディジットを出力
しない



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* RS-232通信 許可



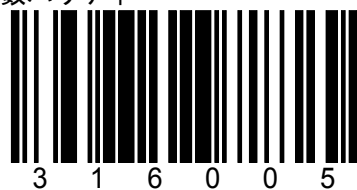
スキャナはRS-232C (±12 V シリアル出力) に設定されます。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

パリティなし



奇数パリティ



* スペース・パリティ



偶数パリティ



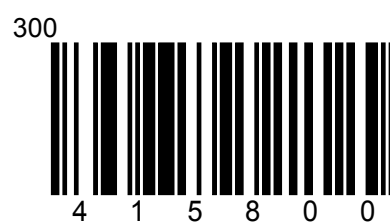
マーク・パリティ



* 印は初期設定値(デフォルト)です。



* 印は初期設定値(デフォルト)です。



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

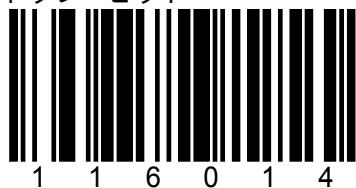
* 7データ・ビット



8データ・ビット



1ストップ・ビット

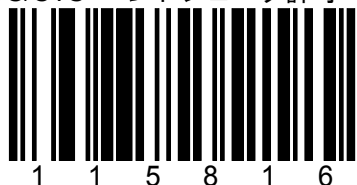


* 2ストップ・ビット



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

RTS/CTS ハンドシェーク許可



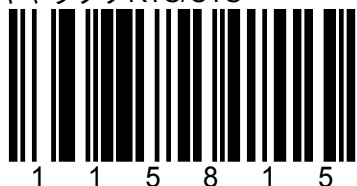
RTS 信号を出力し、CTS 信号を待機してデータを出力します。

* RTS/CTS ハンドシェーク禁止



RTS/CTSハンドシェークは使わない。

* キャラクタRTS/CTS



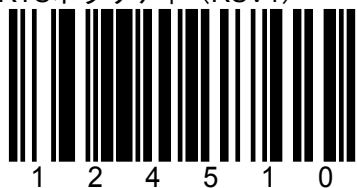
各キャラクタのRTS 信号をアクティベートにしたり、非アクティブにする。

メッセージRTS/CTS



最初のキャラクタを出力する前にRTSをアクティブにし、最後のキャラクタが出力され終わるまで、アクティブにしておく。

逆RTSポラリティ (RSV1)



+12 V=非アクティブ
-12 V=アクティブ

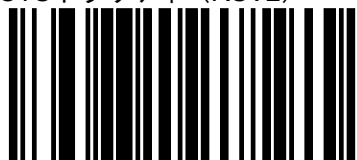
* 標準RTSポラリティ



-12 V=非アクティブ
+12 V=アクティブ

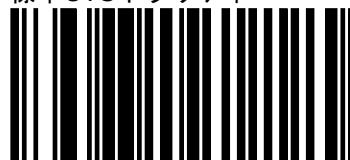
* 印は初期設定値(デフォルト)です。

逆CTSポラリティ (RSV2)



+12 V= 非アクティブ、送信しない
-12 V= アクティブ、送信 OK

* 標準CTSポラリティ



-12 V= 非アクティブ、送信しない
+12 V= アクティブ、送信 OK

RTS をアクティブにし、CTSを待機しない (RSV3)



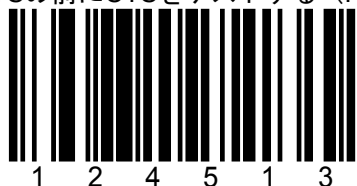
送信のために RTS をアクティブにしますが、
CTS を待機しません

* RTSをアクティブにし、CTSを待機



RTSをアクティブにした後にCTSを待機し
ます

RTSの前にCTSをテストする (RSV4)



CTS が既にアクティブな 場合、RTS をアクテ
ィブにしません。

* RTSの前にCTSを テストしない



CTSが既にアクティブな場合、テストはせず
にRTSをアクティブにします。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

CTS読取送信



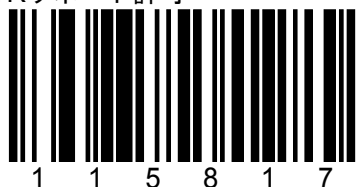
CTS ラインを使用することにより、デコードされたバーコードの転送が可能になります。

全ての製品に有効な設定ではありません。

* CTS読取送信なし



DTRサポート許可



スキャナは、Data Terminal Ready (DTR) 信号が非アクティブになると読取を停止します。

* DTRサポート禁止



RTSカウンター・トグル許可



正常に読取った際にスキャナは RTS ラインをトグルします。

* RTSカウンター・トグル禁止



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

XON/XOFFハンドシェーク許可



XOFF (ASCII=DC3、HEX=13) を受信すると、
スキャナは送信を停止します。
XON (ASCII=DC1、HEX=11) を受信すると、
再び送信始します。

* XON/XOFFハンドシェーク禁止



スキャナはXON/XOFFを受け付ません。

ACK/NAK許可



データ送信後にホストからACK (06H) かNAK
(15H) 反応を待機します。

ACKを受信した時、通信サイクルを完了しデータ
を受けつけます。

NAK を受信した時、最後のデータのみ送信し
ACK/NAKを再び待機します。

* ACK/NAK禁止



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

O/Nハンドシェーク許可



* O/Nハンドシェーク禁止



この設定を使用するには ACK/NAK ハンドシェーク (G-9ページ) を許可する 必要があります。

ACK/NAKのBEL/CANをサポート



* ACK/NAKのBEL/CAN を無視



BEL (07H) を受信した時、スキャナはブザー3回鳴らし、ループから抜け出します。

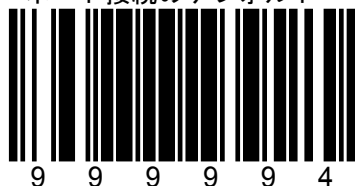
CAN (18H) を受信するとスキャナはブザーを鳴らさず通信ループを抜け出します。

通信ループでBEL/CAN キャラクタを無視します。

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

接続環境の設定

キーボード接続のデフォルト



キーボード接続（キーボードエミュレーション）のデフォルト(初期値)に設定します。

スタンド・アロン設定



ノートブックPC用。

スキャナとPCをPS/2分岐ケーブルで接続し、分岐ケーブルにキーボードを接続しない場合の設定です。

スキャナは未使用のPS/2コネクタにキーボードが接続されているようにシミュレートします。

* キーボード・エミュレーション設定



デスクトップPC用。

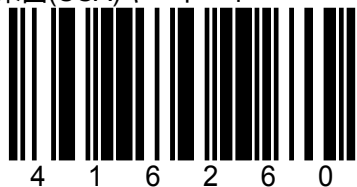
スキャナとPCをPS/2分岐ケーブルで接続し、PCのキーボードを併用する設定です。

SECTION H

キーボード・レイアウト

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

* 米国(USA)キーボード



日本 キーボード



* 印は初期設定値(デフォルト)です。

数字をキーパッド・データとして出力する



* 数字を通常のデータとして出力する



すべてのデータはキーパッド(キーボード右側の数字キー部)から入力されたデータとして出力します。

SECTION H

コントロール・セット

* 印は初期設定値(デフォルト)です。

コントロール・セット #1

コントロール・セット#1 許可



* コントロール・セット#1 禁止



「許可」に設定するとスキャナは次の1、2のように動作します。

1.	バーコード (Code128など) に含まれるASCIIの制御キャラクタ (HEX : 00~1F)を、キーボード上のファンクション・キーに変換して出力します。
2.	プリフィックス・サフィックスに設定したASCIIの制御キャラクタ (HEX : 00~1F)をキーボード上のファンクション・キーに変換して出力します。 変換されるファンクション・キーについては、[表 コントロール・セット#1]を参照してください。

参考

プリフィックス・サフィックスにファンクション・キーを設定する場合、コード・バイトの設定値は次の2通りあります。

	設定値の参照先	説明
1	M6-M10 [表-コード・バイトによるアスキーの設定値]	スキャナに ASCII の制御キャラクタを設定します。SECTION H-10「コントロール・セット#1」を「許可」(上記メニュー)に設定し、ASCII をファンクション・キーに変換します。 Code128 などに含まれた ASCII(HEX:00~1F)をファンクション・キーに変換します。 例：「F5」を設定する場合、コード・バイト値は「020」
2	M11-M12 [表-コード・バイトによるファンクション・キー(拡張キー・コード)の設定値]	スキャナに直接ファンクション・キーを設定します。 Code128 などに含まれた ASCII(HEX:00~1F)をファンクション・キーに変換しません。 例：「F5」を設定する場合、コード・バイト値は「148」

SECTION H

表-コントロール・セット#1

ASCII(HEX、16進数)	ASCII Control(アスキー制御文字)	ファンクション・キー
00H	Null	Numeric Keypad + (Plus)
01H	SOH	Num Lock
02H	STX	Down Arrow
03H	ETX	Numeric Keypad - (Minus)
04H	EOT	Insert
05H	ENQ	Delete
06H	ACK	System Request
07H	BEL	→ (Right Arrow)
08H	BS	← (Left Arrow)
09H	TAB	Tab
0AH	LF	Caps Lock
0BH	VT	Shift Tab
0CH	FF	Left Alt
0DH	CR	Enter
0EH	SO	Left Control
0FH	SI	Up Allow
10H	DLE	F1
11H	DC1	F2
12H	DC2	F3
13H	DC3	F4
14H	DC4	F5
15H	NAK	F6
16H	SYN	F7
17H	ETB	F8
18H	CAN	F9
19H	EM	F10
1AH	SUB	Home
1BH	ESC	Esc
1CH	FS	Page Up
1DH	GS	Page Down
1EH	RS	Print Screen
1FH	US	End

説明

「マルチ・コード方式」による設定項目は、「コード・バイト」という値を設定するためのバーコード・メニュー（項目 M-2、M-3 の「0」～「9」）を読み取って、値を設定する必要があります。コード・バイトの値は 3桁(10進数値) で設定します。

「マルチ・コード方式」による設定項目は主に次の内容です。

1. ユーザー指定のプリフィックス、ユーザー指定のサフィックスにキャラクタを設定する。
2. バーコードの読取桁数を設定する

設定するコード・バイトの値は次の表を参照して、該当する 3 桁の数値をスキャナで読み取ってください。

マルチ・コード方式を必要とする設定	参照項目	例(内容)	例(値)
ユーザー指定のプリフィックス・サフィックスにキャラクタ(文字)を設定する	M-6～M-10 表-コード・バイトによるアスキーの設定値(アスキー表)	アルファベットの「A」を設定する	065
ユーザー指定のプリフィックス・サフィックスにファンクション・キーを設定する	M-11～M-12 表-コード・バイトによるファンクション・キー(拡張キー・コード)の設定値	キーボードの「ESC」を設定する	169
桁数を設定する	バーコードの桁数を 3 桁に換算してください。	12 桁に設定する	012
バーコードの種類を設定する	M-5 表-コード・バイトによるバーコードの種類の設定	バーコードの種類を Code39 に設定する	080

設定開始/設定終了

**設定の例**

例：ユーザー指定のプリフィックス 1 桁目にアルファベット「A」を設定する

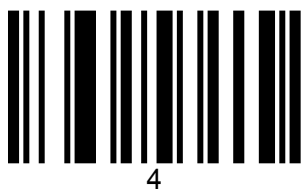
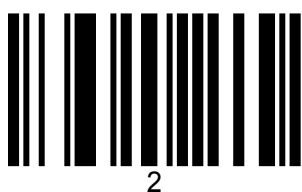
順番	参照項目	読み取るメニュー	備考
1	x	設定開始/設定終了	ブザーが 3 回鳴ります
2	E-1	プリフィックス #1	ブザーが 1 回鳴ります
3	M-2	コード・バイト「0」	ブザーが 1 回鳴ります
4	M-3	コード・バイト「6」	ブザーが 2 回鳴ります
5	M-2	コード・バイト「5」	ブザーが 3 回鳴ります
6	x	設定開始/設定終了	ブザーが 3 回鳴ります

SECTION M

コード・バイト 0~5

値を設定するための設定メニュー

ひとつの値は3桁の値(10進数)で決められています。2つめ、3つめをスキャンするには1秒以上間隔を置いてからスキャンしてください。(デイレイ設定のためすぐに読めません)



SECTION M

コード・バイト 6~9

マルチ・コード方式で値を設定するための設定メニューです。
ひとつの値は3桁の値(10進数)で決められています。2つめ、3つめをスキャンするには
1秒以上間隔を置いてからスキャンしてください。(ディレイ設定のためすぐに読めません)

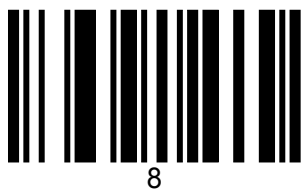
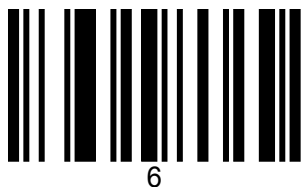


表-コード・バイトによるバーコードの種類の設定

バーコードの種類を設定する場合は、表の3桁の数値を設定します。

コード・バイト	コード・タイプ(バーコードの種類)
004	UPC-A
002	UPC-E
003	EAN-8
005	EAN-13
080	Code 39
081	Codabar
082	Interleaved 2 of 5
083	Code 128
084	Code 93
091	MSI Plessey
092	Code 11
093	Airline 2 of 5 (15桁)
094	Matrix 2 of 5
095	TELEPEN
096	UK Plessey
098	Standard 2 of 5
097	Airline (13桁)
099	TRI-OPTIC

表-コード・バイトによるアスキーの設定値 (アスキー表) [1/5]

16進数値	10進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
00	000	NUL	@
01	001	SOH	A
02	002	STX	B
03	003	ETX	C
04	004	EOT	D
05	005	ENQ	E
06	006	ACK	F
07	007	BEL	G
08	008	BS	H
09	009	HT	I
0A	010	LF	J
0B	011	VT	K
0C	012	FF	L
0D	013	CR	M
0E	014	SO	N
0F	015	SI	O
10	016	DLE	P
11	017	DC1	Q
12	018	DC2	R
13	019	DC3	S
14	020	DC4	T
15	021	NAK	U
16	022	SYN	V
17	023	ETB	W
18	024	CAN	X
19	025	EM	Y
1A	026	SUB	Z

表-コード・バイトによるアスキーの設定値 (アスキー表) [2/5]

16進数値	10進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
1B	027	ESC	[
1C	028	FS	¥
1D	029	GS	^
1E	030	RS	_
1F	031	US	
20	032	SP	space,blank
21	033	!	
22	034	"	
23	035	#	
24	036	\$	
25	037	%	
26	038	&	
27	039	'	apostrophe
28	040	(
29	041)	
2A	042	*	
2B	043	+	
2C	044	,	comma
2D	045	-	minus
2E	046	.	period
31	049	1	number one
32	050	2	
33	051	3	
34	052	4	
35	053	5	

表-コード・バイトによるアスキーの設定値 (アスキー表) [3/5]

16進数値	10進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
36	054	6	
37	055	7	
38	056	8	
39	057	9	
3A	058	:	
3B	059	;	
3C	060	<	less than
3D	061	+	
3E	062	>	greater than
3F	063	?	
40	064	@	shift P
41	065	A	
42	066	B	
43	067	C	
44	068	D	
45	069	E	
46	070	F	
47	071	G	
48	072	H	
49	073	I	letter I
4A	074	J	
4B	075	K	
4C	076	L	
4D	077	M	
4E	078	N	

表-コード・バイトによるアスキーの設定値 (アスキー表) [4/5]

16進数値	10進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
4F	079	O	letter O
50	080	P	
51	081	Q	
52	082	R	
53	083	S	
54	084	T	
55	085	U	
56	086	V	
57	087	W	
58	088	X	
59	089	Y	
5A	090	Z	
5B	091	[shift K
5C	092	¥	shift L
5D	093]	shift M
5E	094	^	up arrow、 shift N
5F	095	_	left arrow、 shift O、 underscore
60	096	`	accent grave
61	097	a	
62	098	b	
63	099	c	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	

表-コード・バイトによるアスキーの設定値 (アスキー表) [5/5]

16進数 値	10進数値/ コード・バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
6A	106	j	
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		vertical slash
7D	125	}	alt mode
7E	126	~	(alt mode)
7F	127	DEL	delete,rubout

M-11 コード・バイト(マルチ・コード方式での値設定)

SECTION M

コード・バイトの設定値

表-コード・バイトによるファンクション・キー(拡張キー・コード)の設定値 [1/2]

プリフィックス・サフィックスにファンクション・キーを設定する場合は10進数値をコード・バイトで設定します。例：「F1」を設定する場合の値は「144」。コード・バイトの「144」(1-4-4)をスキャン。

ファンクション・キー	AT スキャンコード	PS2 スキャンコード	3151	PREFIX/SUFFIX 設定値 16進数 = 10進数
Up arrow	75H	48H	63H	80H = 128
Down arrow	72H	50H	60H	81H = 129
Right arrow	74H	4DH	6AH	82H = 130
Left arrow	6BH	4BH	61H	83H = 131
Insert	70H	52H	67H	84H = 132
Delete	71H	53H	64H	85H = 133
Home	6CH	47H	6EH	86H = 134
End	69H	4FH	00H	87H = 135
Page Up	7DH	49H	00H	88H = 136
Page Down	7AH	51H	00H	89H = 137
Right Alt	11H	38H	00H	8AH = 138
Right Ctrl	14H	1DH	39H	8BH = 139
予約項目(なし)	00H	00H	00H	8CH = 140
予約項目(なし)	00H	00H	00H	8DH = 141
Numeric Keypad Enter	5AH	5AH	79H	8EH = 142
Numeric Keypad /	4AH	35H	00H	8FH = 143
F1	05H	3BH	07H	90H = 144
F2	06H	3CH	0FH	91H = 145
F3	04H	3DH	17H	92H = 146
F4	0CH	3EH	1FH	93H = 147
F5	03H	3FH	27H	94H = 148
F6	0BH	40H	2FH	95H = 149
F7	83H	41H	37H	96H = 150
F8	0AH	42H	3FH	97H = 151
F9	01H	43H	47H	98H = 152
F10	09H	44H	4FH	99H = 153
F11	78H	57H	56H	9AH = 154
F12	07H	58H	5EH	9BH = 155
Numeric +	79H	4EH	00H	9CH = 156

SECTION M

コード・バイトの設定値

表-コード・バイトによるファンクション・キー(拡張キー・コード)の設定値 [2/2]

プリフィックス・サフィックスにファンクション・キーを設定する場合は10進数値をコード・バイトで設定します。例：「Tab」を設定する場合の値は「166」。コード・バイトの「166」(1-6-6)をスキャン。

ファンクション・キー	AT スキャンコード	PS2 スキャンコード	3151	PREFIX/SUFFIX 設定値 16 進数 = 10 進数
Numeric -	7BH	4AH	7CH	9DH = 157
Numeric *	7CH	37H	00H	9EH = 158
Caps Lock	58H	3AH	14H	9FH = 159
Num Lock	77H	45H	00H	A0H = 160
Left ALT	11H	38H	00H	A1H = 161
Left CTRL	14H	1DH	11H	A2H = 162
Left Shift	12H	2AH	12H	A3H = 163
Right Shift	59H	36H	59H	A4H = 164
Print Screen	Multiple	00H	00H	45H = 165
Tab	0DH	0FH	0DH	A6H = 166
Shift Tab	8DH	8FH	65H	A7H = 167
Enter	5AH	1CH	5AH	A8H = 168
ESC	76H	01H	08H	A9H = 169
Left ALT Make	11H	36H	00H	AAH = 170
Left ALT Break	11H	B6H	00H	ABH = 171
Left CTRL Make	14H	1DH	00H	ACH = 172
Left CTRL Break	14H	9DH	00H	ADH = 173
* LeftALT + 1 character	11H	36H	00H	AEH = 174
* LeftCTRL+1 character	14H	1DH	10H	AFH = 175
* Send			58H	C0H = 192
Clear			6FH	C1H = 193
Jump			76H	C2H = 194
Send Line			7EH	C3H = 195
Erase EOF			6DH	C4H = 196
Send – Make Only			58H	C5H = 197

MS7120 の環境設定(USB で接続) Revision K 以前用

対象機種

型式	品名	インターフェース
MS7120-AC-U	定置型レーザースキャナ	USB キーボードインターフェース

設定の内容

Revision K 以前用。本体裏面のラベルに(K) (J)(I)など)と表示された製品にお使いください。スキャナの通信設定を適切な状態に設定します。順番にスキャンしてください。

1 設定開始

(頭部 LED 緑/赤が点滅します)



999999

2 全項目初期化

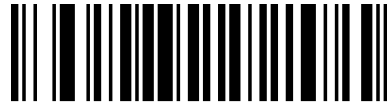


999998

3 Low Speed 外付け USB インターフェースのロ
ード

999978

4 日本語キーボード



4162100

5 標準のサフィックス LF 禁止



116602

※アプリケーションによっては LF を許可に設定する場合があります。(参照項目:E-14)

6 設定終了



999999

MS7120 の環境設定(USB で接続) Revision L 以降用

対象機種

型式	品名	インターフェース
MS7120-AC-U	定置型レーザースキャナ	USB キーボードインターフェース

設定の内容

Revision L 以降用。本体裏面のラベルに(L)、(N)と表示された製品にお使いください。.....
 スキャナの通信設定を適切な状態に設定します。順番にスキャンしてください。

1 設定開始

(頭部 LED 青/白が点滅します)



999999

2 全項目初期化



999998

4 日本語キーボード



4162100

4 標準のサフィックス LF 禁止



116602

※アプリケーションによっては
 LFを許可に設定する場合があります。(参照項目:E-14)

5 設定終了



999999

MS7120 の環境設定(PS/2 で接続 デスクトップ PC)

対象機種

型式	品名	インターフェース
MS7120-AC-K	定置型レーザースキャナ	PS/2 接続キーボードインターフェース

設定の内容

スキャナの通信設定を適切な状態に設定します。
 順番にスキャンしてください。

1. 設定開始



5. コントロール・セット#1: 許可



2. デフォルト



6. 一致回数 2 回(連続同一デコード 3 回)



3. 通信設定: キーボード・ウェッジのロード



9. 設定終了



4. キーボードレイアウト: 日本キーボード



MS7120 の環境設定(PS/2 で接続-ノート PC)

対象機種

型式	品名	インターフェース
MS7120-AC-K	定置型レーザースキャナ	PS/2 接続キーボードインターフェース

設定の内容

スキャナの通信設定を適切な状態に設定します。
 順番にスキャンしてください。

1. 設定開始



5. コントロール・セット#1：許可



2. デフォルト



6. 一致回数 2 回(連続同一デコード 3 回)



3. 通信設定: キーボード・ウェッジのロード



7. 通信設定: スタンド・アロン設定



4. キーボードレイアウト: 日本キーボード



8. 設定終了



MS7120 の環境設定(RS-232C で接続)

対象機種

型式	品名	インターフェース
MS7120-AC-R	定置型レーザースキャナ	RS-232C インターフェース

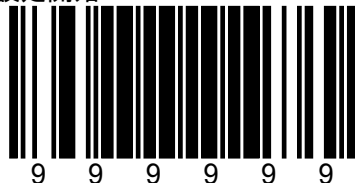
設定の内容

スキャナの通信設定を適切な状態に設定します。
 順番にスキャンしてください。

注意

初期化した後は、RS-232C の各パラメータをホストに合わせて設定してください。
 各パラメータは SECTION G の「RS-232C の通信設定」の設定メニューをスキャンしてください。

1. 設定開始



2. デフォルト



3. RS-232C 通信 許可



4. 設定終了



動作確認などにご使用ください。

JAN-13



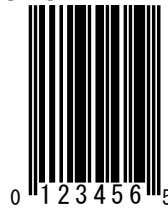
JAN-8



UPC-A



UPC-E



Interleaved2of5



動作確認などにご使用ください。

NW-7(Codabar)



Code39



Code128



GS1 Databar Limited

